

3 波除山跡

大阪市港区弁天5丁目12(弁天東公園)

- ▶ 貞享元年(1684)に河村瑞賢が幕命を受け、元禄11年(1698)、現在の九条と西九条を分ける「安治川」を開削しました。その際に搬出された土砂が丘となり、後に松が植えられ「波除山」または「瑞賢山」と名づけられました。



4 天保山跡

大阪市港区築港3丁目2(天保山公園)

- ▶ 天保2年(1831)安治川と港口の川ざらえを行いました。その時に積み上げられた土砂が、高さ20mの小山となり桜や松が植えられ「浪華の新名所」として当時は大変な賑わいを見せました。その後の築港工事などでその姿はなくなり、現在は標高4.53mの「日本一低い山」として知られています。近くに「山小屋(天保山山岳会)」の事務局が置かれ、登頂証明書がもらえるそうです。天保山は大坂町奉行所の管轄で、大坂三郷に貸し付けられていました。大坂町民の行楽地として賑わったようです。幕末期、嘉永7年(1854)9月(この年は11月27日以降「安政」と改元されています)、ロシア軍艦ディアナ号が天保山沖に現れ、大坂に緊張が高まりました。以降、各藩が天保山で警備を担当します。外国船、幕府の艦船、各藩の艦船が天保山に現れます。第14代将軍徳川家茂が上京する際、江戸へ帰る際、また勝海舟の案内により摂海(大阪湾)巡回の際にも、ここ天保山にて船の乗り降りを行いました。鳥羽伏見の戦い後、徳川慶喜が大坂城から抜け出し江戸へ逃げ帰る際も天保山から船に乗っています。





「大坂天保山」歌川広重の画



大坂城を脱出する徳川慶喜

5 明治天皇観艦之所

大阪市港区築港3丁目2(天保山公園)

- ▶ 天保山公園に「明治天皇観艦之所」という大きな碑が建っています。
慶応4年（1868）3月、明治天皇の大阪行幸の際、日本で最初の観艦式が行われました。
これを記念して記念碑が建てられました。

題字：大勳位載仁親王殿下

碑文：「明治元年（1868）3月明治天皇大阪に行幸あらせられ天保山に上りて親しく軍艦の操練を閲し給ふ。本邦海軍興隆の運実には是を開く。此地即ち玉躑を止め給ひし所なり。後年その迹の湮滅せむことを慮り大正天皇銀婚式記念とし建碑の議起り昭和4年5月工を起し、同10月に至りて成を告ぐ。及ちその所由を記して不朽に伝ふと云爾 昭和4年10月 大阪市青年聯合團長 関 一 謹誌」

